



眼科手術の変遷

～白内障手術と網膜硝子体手術について～

日時 2026年10月6日(火)18:30～19:30

場所 呉医療センター
管理棟4階 地域医療研修センター1・2

座長 呉医療センター 眼科科長
望月 司

講師 広島大学大学院 医系科学研究科
視覚病態学 教授

坂口 裕和 先生



眼球は小さな臓器ながら、目から得る情報は、外界から得る情報の大半を担い、その障害はQOLを大きく損ないます。本講演では、加齢などで生じる白内障を中心に、紀元前の手術から超音波乳化吸引術、小切開手術、眼内レンズの進歩まで、その歴史と発展を概説します。さらに、この50年程度で発展してきた網膜硝子体手術や、今後に期待がかかる3Dヘッズアップサージエリーなど最新の眼科手術を紹介したいと思います。

◆当講演会は、院内外を問わず、医療関係者すべての方を対象とさせていただきます。お気軽にご参加ください。

